

製品名: PRAF2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab16453**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	20kDa

抗原情報

遺伝子名	PRAF2
別名	PRAF2; JM4; PRA1 family protein 2
遺伝子 ID	11230.0
SwissProt ID	O60831
免疫原	抗血清はヒト JM4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 129-178

背景

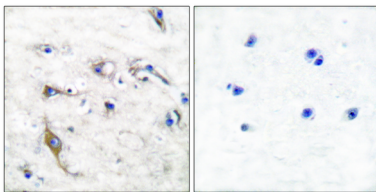
機能:ER/ゴルジ体輸送および小胞輸送に関与している可能性がある。セルレニン誘導性神経芽細胞腫のアポトーシスにおいて前アポトーシスの役割を果たす。類似性:PRA1 ファミリーに属します。サブユニット:CCR5 および GDE1 と相互作用します。組織特異性:

脳、小腸、肺、脾臓、膵臓、および乳房、結腸、肺、卵巣の腫瘍組織で強い発現が見られ、同じ患者の正常組織では発現が弱い。神経芽細胞腫瘍で高い発現が見られる。プルキンエ細胞で強く発現し、小脳の分子層および顆粒層の細胞ではより中程度に発現している。大脳皮質、海馬、側脳室の神経細胞では検出されるが、非神経細胞では検出されない。機能:ER/ゴルジ体輸送および小胞輸送に関与している可能性がある。セルレニン誘導性神経芽腫アポトーシスにおいて、前アポプシスの役割を果たす。類似性: PRA1 ファミリーに属する。サブユニット: CCR5 および GDE1 と相互作用する。組織特異性: 脳、小腸、肺、脾臓、膵臓、ならびに乳房、結腸、肺、卵巣の腫瘍組織において強い発現が認められ、同一患者の正常組織においては弱い発現が認められる。神経芽腫において高い発現が認められる。プルキンエ細胞において強い発現が認められ、小脳の分子層および顆粒層細胞においては中程度の発現が認められる。大脳皮質、海馬、側脳室の神経細胞では検出されるが、非神経細胞では検出されない。

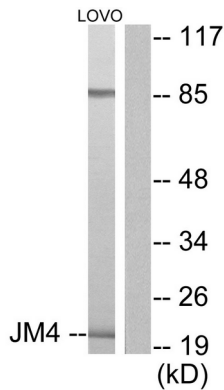
研究分野

シグナル伝達、タンパク質輸送、小胞輸送、制御

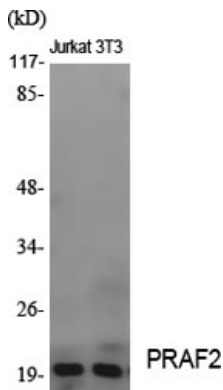
画像データ



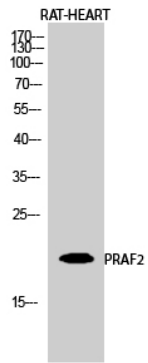
JM4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



JM4 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 希釈の PRAF2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析



1: 2000 希釈の PRAF2 ポリクローナル抗体を用いたラット心臓細胞のウェスタンブロット解析